

CE News Vol.8

～輸液ポンプ・シリンジポンプの定期点検を行いました～

全台の定期点検を行っています

輸液ポンプ・シリンジポンプは、薬液を設定した時間当たりの流量で持続的に投与するために使用する装置です。設定した流量と実際の投与量に誤差が生じると、人の生命や健康に重大な影響を与えるおそれがあります。高度管理医療機器 及び特定保守管理医療機器であり、適切な管理が必要です。臨床工学科では半年に一度、すべての輸液ポンプとシリンジポンプの定期点検を下記のように行っています。

輸液ポンプの定期点検

1.流量精度の点検

バッテリー動作において、流量25 mL/minで60分動作し、平均流量、積算流量ともに誤差±10%以内。

2.閉塞検出の点検

- ・本体から10 cm上部を閉塞させ流量120 mL/minで送液し150秒以内に警報が出る。
- ・本体から1 m下部を閉塞させ流量120 mL/minで送液し10~70秒以内に警報が出る。

3.チューブクランプ機構の点検

・AFFクリップを装着せずに回路を本体に装着しドアを閉めてクレンメを開け再びドアを開ける。チューブクランプが自動で閉じて、輸液セット先端及び点滴筒の水の滴下がない。

4.気泡検出の点検

輸液セット内に10 mmの気泡送り警報が鳴る。検出部に気泡がある。

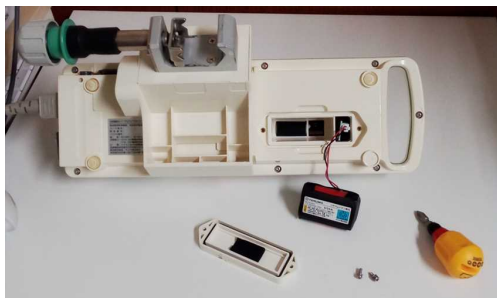
シリンジポンプの定期点検

1.流量精度の点検

バッテリー動作において、流量5 mL/minで60分動作し、平均流量、積算流量ともに誤差±3%以内。

2.閉塞検出の点検

本体下部を閉塞させ流量50 mL/minで送液し、最大圧400~600 mmHgで30~180秒以内に閉塞アラームが鳴る。



バッテリー交換も適宜行っています。
正確な薬液投与ができるように管理しています。